



森と人.

社団法人 静岡県山林協会



“木を植えて 育てて活かす 緑の力” をあなたの手で!!



第36回
全国育樹祭
平成24年秋 静岡県開催

■表紙写真 題名:里山の祭り 撮影場所:静岡市葵区有東木 撮影者:稻葉 浩哉 氏(静岡市)

INDEX

本誌はホームページでも掲載しております。是非ご覧下さい。URL : <http://www.moritohito.jp>

- 2 新任のご挨拶

- 3 平成23年度森林・林業関係主要予算

- 4 平成23年度森林・林業施策方針

- 6 林業関係組織図

- 8 告知版
平成23年度しづおか森林写真コンクール
「緑の募金」にご協力ください

- 8 事務局だより

新任のご挨拶



県交通基盤部理事
(森林・林業連携担当)
橋本 昌吉



県交通基盤部森林局長
林 信次

今年度の定期人事異動により、交通基盤部理事の職を拝命いたしました。昨年度と同様、森林・林業の発展に精一杯努力してまいりますので、皆様の御支援のほどよろしくお願い致します。

日ごろから、社団法人静岡県山林協会の会員の皆様には、森林・林業に関して様々な事業を積極的に展開され、林業及び山村の振興や県土の保全、林業関係技術者の育成などに大きく貢献していただいていることに深く感謝申し上げます。

今年は、「森林・林業再生プラン実施元年」として、国では、国産材自給率50%を目指した取組みが始まっています。森林・林業再生プランを具現化するための施策や制度の見直しが行われており、3月31日には「森林法の一部を改正する法律案」が衆議院を通過し、近々成立すると思われます。

県では、平成17年12月に制定した「静岡県森林と県民の共生に関する条例」に基づき、平成19年3月に「静岡県森林共生基本計画」を定め、「森林との共生」に向けた取組みを進めているところですが、このような国の動きや本県の県産材増産に向けた取組など、森林・林業を取り巻く情勢が大きく変化していることから、より効果的な施策の推進や関係者の取組促進に繋げるため、今年の3月に計画を見直したところです。

県の森林・林業に関する組織は、くらし・環境部、経済産業部、交通基盤部と多岐に分かれていますが、各部門での専門性を高め、より一層連携した「森林との共生」を進めることで、「富国有徳の理想郷“ふじのくにづくり”」の実現に取組んでまいります。

また、平成24年秋には、本県で「第36回全国育樹祭」を開催いたします。「森林資源の活用とそのための人づくり」に努めるとともに、「森林との共生」を進めることの大切さを県民に発信し、開催の機運を高めてまいりますので、会員の皆様には一層の御理解と積極的な御参画をお願い申し上げますとともに、御健勝と御多幸を心から祈念いたしまして、就任のあいさつといたします。

今年度の定期人事異動により、森林局長の職を拝命いたしました。前任者同様、御支援のほどお願致します。日ごろから、社団法人静岡県山林協会の会員の皆様には、森林・林業に関する地域に根ざした幅広い取組みを通して、県土の保全と山村の振興に大きな役割を果たしてこられたことに深く感謝申し上げます。

近年、世界的な木材需要の高まりや為替相場の変動リスクの回避などから、製材用材・合板用材での国産材への回帰の兆しが表れてきております。

また、国では、木材の安定供給と利用に必要な体制の構築を図るため、森林計画制度の見直しや森林環境保全直接支払制度の創設など、制度・施策の抜本的な見直しが進められています。

こうした森林・林業への追い風を活かすため、本県では、「県産材生産45万m³(H25)の達成」に向けて、小規模分散している森林の集約化、路網整備と機械化施業による効率的な生産システムの確立、それらを総合的に取りまとめる人材の育成など、効率的な木材生産システムの構築に向けて積極的に取組んでいるところです。

一方、立地条件が悪いなど、自助努力だけでは適切な整備が図られない森林の増加は、森林の公益的機能の低下を招き、下流域への直接的な被害が懸念されることから、引き続き、治山事業による災害に強い森林づくりや森の力再生事業による荒廃森林の再生を着実に推進し、森林の適正な保全を図ってまいります。特に、森の力再生事業につきましては、昨年、「もりづくり県民税」の課税期間を5年間延長するとともに、会員を含め皆様の御意見を参考に、生活に直接影響を及ぼす恐れのある森林整備の追加や竹林整備面積の拡大を図るなど、事業の一部を見直しました。今後も皆様の一層の御協力をお願ひいたします。

結びにあたり、(社) 静岡県山林協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝を心から祈念いたしまして、就任のあいさつといたします。

平成23年度森林・林業関係主要予算

(単位:千円)

部局名	担当課	事業名	予算額	部局名	担当課	事業名	予算額
森林計画課 森林整備課 森林保全課 森林整備課 森林保全課	森林整備事務費 森林整備地域活動支援事業費 県単独森林整備事業費助成(付増) 林地開発許可制度実施費 森の力再生事業費 森林整備加速化・林業再生事業費(森林整備) 森林・林業再生推進事業費 ※ 緊急雇用対策事業費 ふるさと雇用対策事業	森林整備事務費	43,825	河川基盤防護部 くらし・環境部 経済産業部	砂防課 環境ふれあい課 農林業局	治山地すべり防止事業費	213,000
		森林整備地域活動支援事業費	145,000			緊急治山地すべり防止事業費	65,000
		県単独森林整備事業費助成(付増)	32,878			県単独治山地すべり防止事業費	72,000
		林地開発許可制度実施費	1,887			緊急総合治水対策事業費 ※	50,000
		森の力再生事業費	972,000			環境教育推進事業費	483
		森林整備加速化・林業再生事業費(森林整備)	214,000			県民参加の森づくり推進事業費	13,177
		森林・林業再生推進事業費 ※	45,550			県有林管理事業費	34,846
		緊急雇用対策事業費	69,500			自然ふれあい施設管理運営費	15,891
		ふるさと雇用対策事業	44,520			自然ふれあい施設管理運営費 II	94,500
		造林事業費	269,000			企業の森づくり活動推進事業費	7,715
交通基盤部 森林局	森林整備課 森林保全課 森林保全課 森林整備課 森林保全課	水土保全森林緊急間伐対策事業費助成	13,872			里山ふれあい環境整備事業費	32,900
		しづおか林業再生プロジェクト推進事業費	35,000			緊急雇用対策事業費	10,026
		スギ等花粉発生源対策事業費	4,376			緑化推進事業費	2,629
		県単独森林病害虫獣総合対策事業費	39,000			グリーンバンク事業費助成	105,000
		県営林道整備事業費	340,000			ビジネス林業展開支援事業費 ※	22,000
		団体営林道事業費	233,000			間伐材搬出奨励事業費助成	120,000
		集落間林道整備事業費	60,000			林業を支える元気な担い手支援事業費	94,400
		県単独林道事業費	263,000			森林を守り育てる人づくり推進事業費助成	36,453
		社会環境基盤重点林道整備事業費	184,000			林業労働者就労安定促進事業費助成	4,729
		中山間地域林業整備事業費(山村道路網整備)	319,000			林業労働総合対策事業費	194
		資源循環林地整備事業費	51,000			林業関係団体事業費助成	13,180
		保安林整備事業費	10,738			林業・木材産業構造対策事業費助成	605,263
		治山事業費	1,148,000			森林整備加速化・林業再生事業費(林業振興)	279,226
		緊急治山事業費	343,000			中山間地域林業整備事業費助成(就業機会創出)	13,000
		林地崩壊対策事業費	3,000			住んでよし しづおか木の家推進事業費助成 ※	200,000
		県単独治山事業費	919,000			しづおか木使い県民運動推進事業費	3,000
		国直轄治山事業費負担金	322,000			林業振興総合推進費	17,014
		緊急雇用対策事業費 ※	21,100				
		農山漁村地域整備交付金事業費(森林)	2,239,000				
		森林を守り育てる人づくり全国育樹祭開催準備事業費	23,500				

◇※は、平成23年度新規

◇農山漁村地域整備交付金事業(森林)は、治山(1,416,000千円)、造林(176,000千円)、県営林道(628,000千円)、団体営林道(19,000千円)



平成23年度森林・林業施策方針

●森林・林業施策の位置付け



●平成23年度森林・林業施策の重点化項目

1 森林資源の活用とそのための人づくりの推進と全国への発信 ~静岡らしい全国育樹祭の推進~

- 全国育樹祭（H24秋）の開催準備 実行委員会設立、実施計画作成、プレイベントの開催、情報発信

2 社会全体が支える森林管理の仕組みづくり ~県民の、県民による、県民のための森林づくりへ~

- 双方面で視覚的な森林情報の共有 森林情報共有システムによる情報の発信と質の向上
- 県民による合意形成と連携した取組の促進 森林県民円卓会議の開催、白書を活用したP D C A
- 県民や企業による森づくりの促進 しづおか未来の森サポーター制度、ふじのくに森の町内会等
- 森林環境教育の推進 遊木の森、榛原ふるさとの森での森林環境教育等
- 県立森林公園等での自然とのふれあい促進 県有施設を活用した自然とのふれあいの推進

3 安心・安全な県土の保全 ~森林の公益的機能の持続的發揮と災害の防止~

- 森林づくり県民税による荒廃森林の整備 森の力再生事業
- 保安林機能の持続的発揮 森林所有者等による保安林整備の促進、協働管理手法の展開
- 優先度を明確にした治山事業の推進 緊急豪雨対策、住民参画による減災対策、既存施設補強等コスト縮減
- 松くい虫被害の徹底的・効果的な防除 海岸防災林等の重要な松林の徹底防除と管理道の整備
- シカ等の野生鳥獣被害対策 特定鳥獣保護管理計画に基づく保護管理等
- 森林資源の充実した県営林の管理 管理運営面積の段階的縮小、返還後の支援等
- 森林の乱開発の防止、自然生態系の保全 林地開発許可制度、自然公園法、希少野生動植物保護条例の運用等

4 県民の様々な期待に応える多彩な森林づくり ~環境・景観に配慮した森林造成と自然環境の保全~

- 森林吸収源対策としての森林整備 森林吸収量3.8%の目標達成のための森林整備目標10,800ha/年
- 花粉の少ないスギへの品種転換・地域に適した広葉樹の選定 花粉対策苗への全量切替に向けた採種園整備
- 自然環境財としての森林づくり 県有林管理事業等

5 森林・林業を支える人づくり・地域づくり ~森林・林業を担う人材の確保と能力の向上、森林資源の活用による中山間地の雇用創出~

- 林業への新規就業の促進 林業体験会、就業相談会、林業事業体での短期雇用など
- 森林技術者の能力の向上 各種研修の積極的な活用と参加を促進
- 森林施業の集約化を進める人材の育成 各種研修を活用し森林施業プランナー、路網作設オペレーターを育成
- しいたけ産地の体制強化 しいたけ道場の実施、しづおか農林水産物認証の取得支援ほか
- 山村地域の道路網や生活環境基盤の整備推進 林道整備、中山間地域林業整備事業等

6 県産材の安定供給体制の確立(川上)

～「育てる」から「活かす」へ～

- 計画的かつ低コスト生産システムの確立・普及 施業を集約化した森林への重点的な投資
- 利用間伐に重点を置いた森林整備の加速化 造林事業等(森林環境保全直接支援事業の活用)
- 林道・作業道整備の推進 高性能林業機械等の稼動に配慮した災害に強い路網の整備
- 機械化等の促進 しづおか林業再生プロジェクト推進事業等
- 流域管理システムの取組 賀茂、東部、大井川地域を重点地域に位置付け、システム構築と他地域へ普及
- ビジネス林業の展開 計画かつ低コスト生産の普及と異業種の林業への参入を促進
- A材からD材のすべての活用 間伐材搬出奨励事業(6万m³)、震災復興に向けた木材供給
- 森林施業の集約化のための条件整備 森林経営計画の作成促進
- 計画作成に必要な情報の充実等 森林情報の充実、森林GIS機能の整備、市町森林GISの導入促進
- 市町、国等との連携 フォレスター制度試行による市町、林業事業体への支援体制構築、民国連携の推進
- 森林経営計画の作設支援 森林整備地域活動支援交付金を活用した計画作成支援

7 県産材の流通改革と製材・加工体制の拡充(川中)

～県産材の直送と生産規模の拡大～

- 県産材の流通改革 県森林組合連合会を核とした需給コーディネート体制の試行
- 製材・加工体制の拡充 しづおか優良木材などの生産拡大を支援

8 県産材の需要拡大(川下)

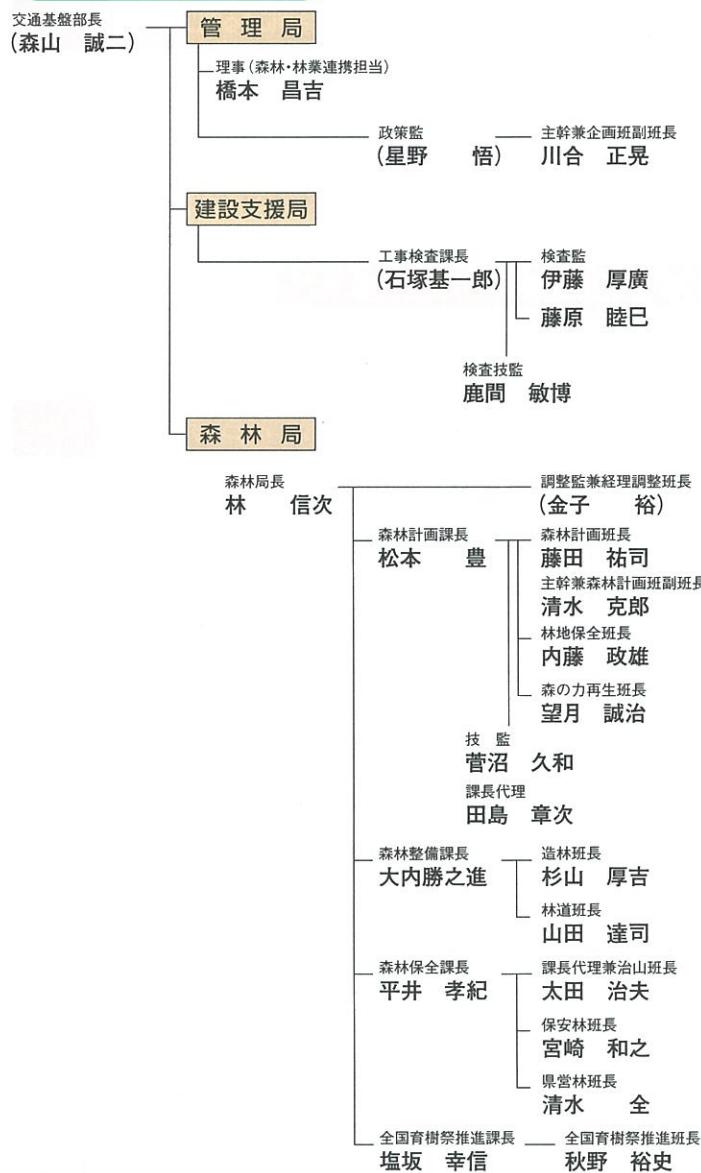
～民間及び公共部門での利用拡大～

- 民間部門での利用拡大 「住んでよし しづおか木の家推進事業」による木造住宅の建築の促進
- 公共部門での利用拡大 「ふじのくに」公共建築物等木使い推進プランの着実な実施
- 新たな分野での利用拡大 木質ペレット焚きボイラーの導入を支援

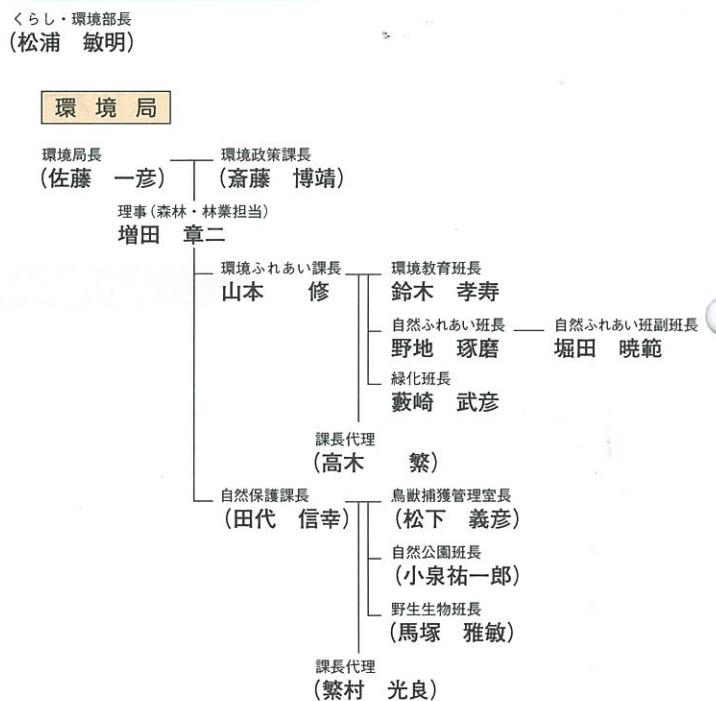


本庁関係

交通基盤部

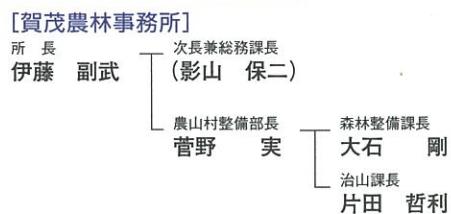


くらし・環境部

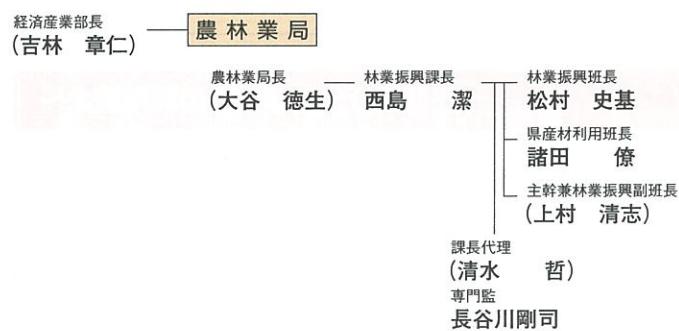


出先関係

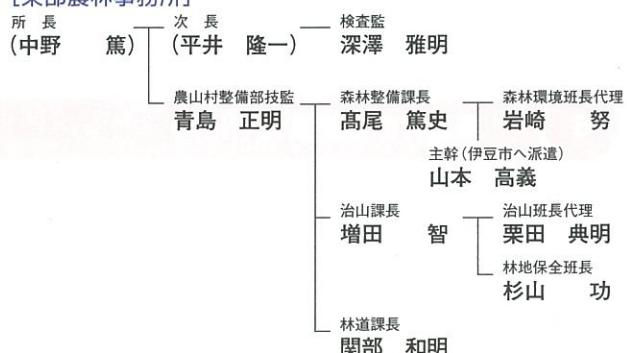
経済産業部



経済産業部

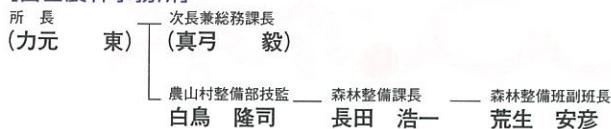


東部農林事務所

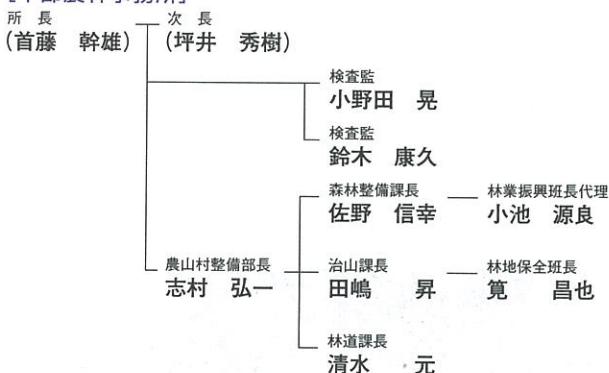




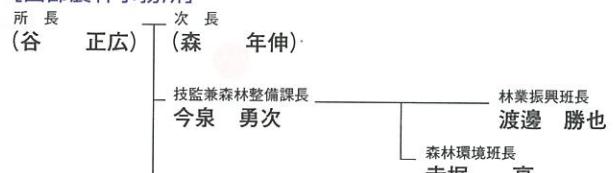
[富士農林事務所]



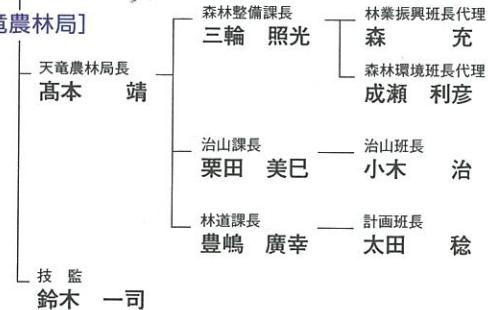
[中部農林事務所]



[西部農林事務所]



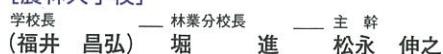
[天竜農林局]



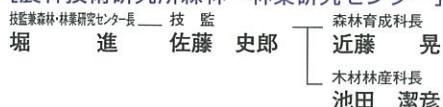
[志太榛原農林事務所]



[農林大学校]



[農林技术研究所森林・林業研究センター]



経営管理部

[東部地域支援局]

主幹 晃 (伊藤)

(注) ()は林業職以外

[中遠農林事務所]



☆☆☆退職された皆様☆☆☆

長い間ありがとうございました今後とも御指導をお願いします。

渥美 恭一
加藤 豊成
佐藤 均治

工事検査課検査技監
中部農林事務所農山村整備部長
西部農林事務所天竜農林局治山課長

佐藤 孝敏

清水 十一

加茂農林事務所長

西部農林事務所天竜農林局技監

告知版

平成23年度しづおか森林写真コンクール

応募要領

★題材

静岡県内の森林に関わる作品で、「森林の景観」、「林業・木材産業で働く姿」、「森林整備や森林土木工事の状況」、「森林体験やリクリエーションの様子」及び「森林と一緒にとなった山村や生活の風景」など森林や林業の素晴らしい、大切な啓発に役立つものを対象とします。

★賞

最優秀賞（静岡県知事賞）	1点	賞状、賞金5万円
特選（社）静岡県山林協会長賞	2点	賞状、賞金3万円
準特選（社）静岡県山林協会長賞	5点	賞状、賞金1万円
入選（社）静岡県山林協会長賞	20点	賞状、賞金5千円 (賞金は（社）静岡県山林協会から贈呈します。)

★応募規定

- ① 作品は、平成22年9月以降に静岡県内で撮影した未発表作品に限ります。
- ② サイズは、カラー・白黒プリント四つ切（3枚までの組み写真可、四つ切りワイド不可）。
- ③ 作品の裏面に題名、撮影地、氏名等を記入した応募票を添付して下さい。
- ④ 入賞作品、原版等の使用権は、主催者に帰属します。

★締切 平成23年8月31日(水)（当日消印有効）

★提出先 (社)静岡県山林協会又は静岡県写真材料商組合加盟店

★主催 (社)静岡県山林協会



事務局だより

* 観測史上最大M9.0の東北地方太平洋沖地震による大津波は、多くの尊い命を奪い去りました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り致します。

一瞬にして家族や家財を失った被災者の皆さんのが、深い悲しみを胸に秘め、東北特有の粘り強い精神力で再建に励む姿には、本当に頭が下がります。

一日も早い復興を願って、全国から多くの救援の手が差し伸べられておりますが、当協会も救援金を贈らせて頂

きました。「よみがえれ 東北」

* 平成18年度より始まった「森づくり県民税」による「森の力再生事業」が、約束の5年間が経ちました。

この間、約6,000haの荒廃森林が整備され、下草等が期待通りに発生して、確実に森の力が回復しており、県は、多くの県民の賛同の声を背に、税と事業を5年間延長するとの旨。

この事業を機に、「山村と林業の力」も逞しく蘇って欲しいものです。

* 折しも3月11日、「公益社団法人」への認定申請書を県に提出しました。

今後、県等の審査が順調に進めば、協会設立30周年を迎える本年7月1日には公益社団法人に登記の予定です。

「新生」山林協会の誕生を目前に控え、「東北の粘り強さ」と「森の力」に触発されて、美しい山村と逞しい林業の実現に向けて、皆様と頑張る決意を新たに致しました。（小松）

「森と人」 社団法人 静岡県山林協会
編集・発行 静岡市葵区追手町9-6 県庁西館9F
TEL:054-255-4488/FAX:054-255-4489



緑の募金でふせごう 地球温暖化
「緑の募金」にご協力ください

平成22年度に皆様からお寄せいただきました募金は、92,094千円でした。ありがとうございました。

緑の募金は、「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、ボランティアが行う森林づくりの支援、学校林の活用促進、緑の少年団の育成など、森づくりや緑化の推進に活用されます。

地球温暖化の防止にも貢献しています。



募金期間

平成23年3月15日～5月31日

平成23年9月1日～10月31日

(社)静岡県緑化推進協会

〒420-8601

静岡市葵区追手町9番6号

静岡県庁西館9階

TEL054-273-6987・FAX054-273-6990

E-mail s-green@shizu-green.or.jp

<http://www.shizu-green.or.jp>



2011・国際森林年